

発行責任者 東京都立向丘高等学校同窓会  
 会長 宮久保 渡  
 編集 会報委員会  
 事務局 〒113-0023  
 文京区向丘1-11-18 向丘高校内  
 TEL 03-3811-2022  
 FAX 03-3812-4055

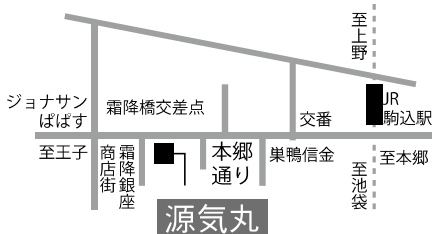


不忍池 名誉顧問 小川力洋氏 撮影

## 同窓会活動のご案内 (やよい会)

### ①同窓会総会

平成30年4月22日(日)  
 受付 11:30～  
 開始 12:00～  
 会務・会計等の報告・審議  
 懇親会 12:30～15:00  
 場所 駒込「源気丸」  
 (旧磯太郎)  
 北区西ヶ原1-55-27  
 TEL 03-5961-5011  
 会費 ¥2,000円(他会補助)  
 申込方法 同封の振込用紙にて、  
 4月12日(木)まで  
 にお振り込み下さい。



### ②全国大会

やよい会 松本市大会  
 平成30年5月27日(日)  
 時間 13:30～  
 場所 「こばやし本店」  
 長野県松本市大手4-8-6  
 TEL. 0263-32-1298  
 会費 ¥3,000円(他会補助)  
 申込方法 同封の振込用紙にて  
 5月10日(木)まで  
 にお振込み下さい。



### ③学校訪問 (ホームカミング)

平成30年9月14日(土)  
 時間 10:00～15:00  
 9月15日(日)  
 時間 9:30～15:00

母校向陵祭(文化祭)音楽・演劇  
 ・研究発表ありPTA展示室にて同  
 窓会作品展示あり。一般会員の出展  
 歓迎(要連絡。宮久保会長まで)



総合問合せ先  
 〒171-0032

豊島区雑司が谷3-14-5  
 東京都立向丘高等学校同窓会  
 会長 宮久保 渡  
 TEL 090-4597-0475  
 メール miyakubo1405@yahoo.co.jp  
 ホームページ  
 東京都立向丘高等学校同窓会

ご挨拶

今年、高校創立七十周年を経て、同窓会の発展と母校及び在校生の応援のため、皆様方のご支援を宜しくお願いします！



同窓会会長 宮久保 渡

一. はじめに

昭和四十五年卒の宮久保渡です。昨年に引き続き、同窓会財政の充実、名簿の整備、会報「やよい」の発行、校長先生をはじめ、学校の先生方及びPTAとの緊密な関係を目指してきました。

そして何よりも母校及び在校生への応援を心掛けてきました。等々、従来の取り組みを踏まえて活動を展開してきました。

昨年も卒業生全員に加入して頂きました。先生方のご協力に感謝を申し上げます。

しかしながら、課題もいくつかあり、この克服が必要と考えています。

- ① 総会への参加人数が少ない。
- ② 役員と会員・会員同士の交流が会全体に反映されていない。
- ③ 全体を網羅する幹事会体制の未整備。

④ 同窓会・同期会などの情報がそれぞれの会員に対し充分行き渡っていないなど、があります。これらの改善を目指し、併せて母校と在校生の応援を目指して行きたいと考えています。

会員の皆様のご協力を心からお願いいたします。

二. 総会・懇親会にご参加を

毎年、会報にて同窓会総会日を発表し、事業報告・会計報告・次年度計画の審議などを行い、議事を決議しております。今年も、学校ではなく、外の会場で総会を開催いたします。一般的なパーティ形式です。(お酒あり)

同期会・クラス会・クラブのOB会を開催したいと考えている皆様は、是非ご参加下さい。同窓会へ応援を致します。

多くの皆様が参加されますようお願い致します。

また、全国大会・今年は、長野県松本市で開催致します。長野県にお住まいの方は、こちらにもご参加下さい。

三. 入会金・年会費の拝受

入会金にしましては、一万有余の会員の皆様に、会報発行・発送をさせて頂いております。

年会費のご協力によりまして、会の運営が賄われています。貴重な財産として大切に、かつ有効に活用させて頂こうと感謝申し上げます。

尚一層のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

四. ホームページの充実及び会報「やよい」の全員配布の継続

二十五年度中に、同窓会独自のホームページを作成致しました。

まだまだ不十分ですが、「校歌」、過去のを含め「会報紙やよい」の掲載、また、思い出の写真集として卒業時のアルバムを掲載しました。これは、個人情報保護する立場から「氏名の不掲載」「写真の大きさも本人が見て、かろうじて判る程度」など配慮しています。

皆様、卒業アルバムをお貸し頂きたいと思っております。

五. 昨年、高校創立七十周年記念式典及び祝賀会を開催しました。(三頁に報告)

どうか、引き続き会員の皆様のお知恵、ご協力をお願いします。

次のステージに向けて



校長 粟原 爾

平成二十九年九月二十九日に、創立七十周年記念式典を文京シビックセンターに於いて、無事挙行することができました。本式典は、

平成二十九年年度中の最大行事の一つであり、同窓会の皆様方のお力添えなしではなし得なかつた一大行事でした。心より感謝申し上げます。

また、同窓会の宮久保渡会長様には、創立七十周年実行委員会の委員長として、多大なお力を頂きました。同様に、同窓会代表として佐々木郁子様にも委員会にご参加いただき、貴重なご意見を頂きました。改めまして御礼申し上げます。

では、式典の様子を次第の表記を用いて簡単に紹介させていただきます。

第一部

開式の辞／国歌斉唱／校長式辞／東京都教育委員会挨拶／来賓祝辞(東京都公立高等学校協会・PTA会長松浦美恵子様・同窓会会長宮久保渡様)／来賓紹介／生徒代表の言葉／校歌斉唱／閉式の辞

第二部

開式／記念講演(東洋大学陸上競技部長距離部門監督酒井俊幸様)／生徒発表(吹奏楽部・ダンス部)／閉式

第一部は七十周年という重みを感じる厳かな式となりました。

第二部は、司会も発表も生徒主体で運営しました。司会は三年生四名で堂々としたものでした。生徒発表は、吹奏楽部とダンス部



の個別の発表とともに、両部による初のコラボレーションもあり、大変盛況なものになりました。一緒に練習する時間が少ない中でも立派な発表に仕上げてくださいました。敬意を表したいと思います。

また、記念講演は箱根駅伝でも有名な東洋大学の酒井俊幸監督にお願いしました。「その一秒をけずりだせ、夢に向かって」という東洋大学陸上競技部長距離部門のスローガンを演題として、選手一人一人とチームの関係など、本校の生徒の心に響く感動的なお話を頂きました。本校と東洋大学陸上部の関係には深いものがあります。本校ホームページの「校歌」のページに詳しく掲載されています。ぜひお読みください。

さて、七十周年記念式典を終えた向丘高校は、これから新しいステージに向けて前進していきます。最も大きな変化は教育課程の変更で、平成三十年度から土曜日授業を開始します。一、二年生同時に移行し、平成三十一年度からは全学年での実施となります。平成三十年度の二年生は現行の大学入試システムでの最終学年、一年生は高大接続改革による新しい大学入試システム一期生となります。現在、本校への入学生の多くは、大学進学を希望しています。このような生徒を迎え入れている今の向

丘高校にとっては、これらの変化に遅れることなく対応し、生徒の希望を実現することに大きな責任があります。その一つとして、十分な学習指導のための時間確保が必要と考え、実施することになりました。

高大接続改革は、大学入試のことばかりを考えている訳ではなく、変化が激しく、予測が困難な将来を、豊かに生き抜く力を育むことも目標としています。そのためにも、大学入試のことばかりでなく、様々な資質、能力を伸ばし、それらを活用する力を育てる必要があります。そのためには、教科学習ばかりではなく、様々な場で主体的に学ぶ態度の育成が大切になってきます。例えば、教科外や学校外でのコミュニケーションの活用です。様々な要因に、素早く、そして柔軟に対応しなければならぬ環境に置かれている現在ですが、皆様の後輩の育成に今後もしっかりと努めてまいりたいと考えております。

これからも引き続き、向丘高校へのご支援とご協力をお願いし、ご挨拶とさせていただきます。



副校長

山下 一郎

向丘高校同窓会の皆様、平素より様々なご支援、ご協力をありがとうございます。心より感謝申し上げます。

私は、平成二十九年四月一日に、前副校長の杉渕明子先生の後任として向丘高等学校に着任しました。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

平成二十九年九月二十九日の創立七十周年記念式典には多くの同窓会の皆様に出席いただきました。また、宮久保会長様には、創立七十周年記念式典実行委員会の委員長としてお力添えを頂きました。また、佐々木郁子様にも委員会に参加いただき、準備段階でご協力を頂きました。おかげさまで、記念式典は滞りなく終了することができました。

昨年の四月に着任してから現在までに、卒業生の方や本校に勤務していらっしゃる方などからの電話がありました。

お一人は、定時制課程の卒業の方でしたが、当時のクラスメイトの方の情報はなにかということでお電話がありました。定時制課程は閉課程になって十年経ちました。

資料もアルバムくらいしかありません。お電話があつてから探してみたら、お電話を頂いた方が卒業した年のアルバムが見つかりました。その方のお名前があつたので、連絡をして昨年秋に閲覧しに学校にいらつしゃいました。この方は卒業アルバムを持っていらつしゃなくても感激していらつしゃいました。その後、定時制課程の同窓会の会長さんが本校にいらつしゃいまして、昨年秋に定時制課程の同窓会の最後の総会を開催するというお話を聞きました。その話を、お電話を頂いた方に連絡し、定時制同窓会最後の総会に参加されたそうです。

お二人目の方は、八十才を超えられた方です。封書が送られてきました。卒業後、兵庫県に転居し、今も兵庫県にお住まいとのことでした。一九九五年の阪神淡路大震災で家屋が損壊し、思い出の品がいつさなくなつてしまったとのことでした。向丘高校卒業時の写真などあれば頂けないかということでした。頑張つて探してみましたが、残念ながら見つかることはできませんでした。しかし、せめて当時を少しでも思い出せるものはないかと考え、十周年の時の記念誌と、この同窓会報「やよい」をお送りしました。

三人目の方は、向丘高校で二十年ほど前まで教員として勤務されていた方です。この方は、向丘高校を最後に定年退職されました。最後の年に、今の校舎建築の準備委員会をやっていらつしやった先生です。この先生は、完成された設計図をみて退職されたということとで、新しくなった校舎の中を見ていなかそうです。所用で学校の近くまで来たので、校舎の中を見せて頂きたいとのことでした。私が一階から六階までご案内し、当時のお話をいろいろと聞かせて頂きました。

卒業生の方や以前勤めていらつしやった教員の方とお会いすると、向丘高校の歴史がわかり、とてもワクワクします。卒業すると、何か用事がない限り母校に来ることはないですが、何かの折に寄ることがあれば、校内をご案内いたします。その際、当時のお話も聞かせて頂き、現在の学校が歴史的に向丘高校を理解する糧にさせていただきます。ただ、立ち寄られたときの状況によっては、ご案内できないときがありますので、その点はご了承ください。

向丘高校の伝統を受け継ぎながら、生徒の一層の活躍のために教職員一同尽力して参ります。皆様の御支援を今後ともよろしく願います。

**東京都立向丘高校創立七十周年  
記念式典及び祝賀会報告**

式典は、二十九年九月二十九日(金)午後二時、文京シビックホールにて、多くの都立高校長・PTA会長及び来賓のご臨席を戴き、同窓会、PTA及び本校全生徒、一〇〇〇名を超える参加者の元開催されました。

第一部は、校長・教育委員会・来賓祝辞等の挨拶。第二部は、「その一秒をけずりだせく夢に向かっ」坂井俊幸様(東洋大学陸上



参加した同窓会役員

競技部(長距離部門監督)の記念講演。プロジェクトを使い、「陸上と人生の生き方」について、熱く語って頂きました。生徒達は、誰一人私語をするものもおらず、真剣に聞いていました。

その後、生徒より、吹奏楽部・ダンス部の発表がありました。普段の練習の成果が現れており、見事でした。

祝賀会は、午後六時より、上野東天紅で開催されました。元校長先生方、元副校長先生関係する他校のPTA会長、先生方、同窓会、PTA役員、約一〇〇〇名の参加者で開催されました。

実行委員会を代表して、宮久保同窓会会長、校長先生の挨拶を受け、乾杯・懇親会へと進行していきました。

その後、四代にわたって前校長先生からの挨拶を受け、懇親会も大変盛り上がりました。

最後に、この紙面をかりまして、七十周年記念式典に向け努力をして頂きました。担当の先生方、PTAの役員の皆様、大変お世話になりました。有難うございました。心から御礼申し上げます。



ブラスバンドの演奏





創立七十周年を迎えて



PTA 会長  
松浦 美恵子

平成二十九年度向丘高校の PTA 会長を務めさせていただいております松浦美恵子です。

日頃より同窓会の皆様には生徒たちへの多大なるご支援をいただきありがとうございます。

平成二十九年九月二七日に文京シビックホールにおいて、向丘高等学校創立七十周年記念式典が挙行されました。同日、上野東天紅において、記念祝賀会も開催されました。

式典では宮久保同窓会長からのご挨拶を賜りました。式典、祝賀会とも同窓会の方々には多数ご参加いただきありがとうございます。同窓会の皆様からの多大なるご尽力のおかげで、どちらも無事に終えることができましたこと、心より感謝申し上げます。また、記念品の制作においてもご協力いただきましたこと御礼申し上げます。

同窓会の皆様からは、向丘生に

ついて式典中の態度や日頃の挨拶などお褒めの言葉をたくさんいただきました。保護者としては、当たり前前の事でも褒められると嬉しいものです。向丘のイメージは明るいの一音です。私たち PTA も学校に訪問すると、生徒たちは挨拶をよくしてくれます。行事ごとの時にはクラスや学年でまとまりとても仲が良いのがわかります。そのような向丘の良いところを引き継いでいってほしいものです。宮久保同窓会長をはじめ、同窓会の皆様も、明るさと穏やかな雰囲気がある方から感じられます。校風は長い年月をかけて作られていくものだと思います。教職員だけでなく、学校を支える地域や保護者、同窓会の方々のご協力のもとに作られていったものだと思います。この校風をいつまでの大切にしていっていただきたいと思えます。

毎年、PTA の活動で全国 PTA 連合会に参加しています。今年度は八月に静岡で開催されました。大会テーマは「有徳の人づくり」未来のために行動する「一人」を育てようとして基調講演、記念講演、シンポジウムが多数行われました。基調講演には静岡大学名誉教授の小和田哲男先生をお

迎えし、「戦国武将に学ぶ子育てと人づくり」と題して、戦国武将たちが幼い頃は寺に預けられ、僧侶から学問だけでなく、戦術も学び、リーダーとして成長していったとお話しされました。小和田先生は大河ドラマなどの監修もかけており、井伊直虎の幼い頃のお話しも聞くことができました。現代の社会でもリーダーが求められ、リーダーシップを取るための学習をしています。子供たちにとって家庭は小さな社会です。反対に学校は大きな社会であり、その中でリーダーシップを育み、社会人として社会に出ていくための学習をしています。三年間という短い高校生活の中で、多くのことを学び、身に付けていく子供達を私たち保護者は今後も PTA 活動を通して応援していきたいです。同窓会の皆様にはこれからもお力添えを頂きますよう、よろしく願いいたします。



同期会・クワス会だより



傘寿を祝う会

昭和三十一年卒 小川 力洋  
二十九年十月二十八日(土)卒業後六十一年となり、二年ぶりだが今年はおおむね八十歳になる方々の筈。過去の参加記録に基づいて一〇〇通のお誘いを行った。

今後の連絡は不要二十八通、要二十通で物故者三通、無返信三通で当日の参加者は十二名という状況だった。平均寿命が八十二〜八十八歳と言われている人生に一度の機会なのに、これ程までに不都合者が出るとは考えられなかった。

参加者の中には遠路大阪からお出掛けの元気な方がおりあやかりたく乾杯の音頭をとってもらった。年輩に合った結構な舟盛の刺身、天ぷら他数小鉢という和食、美酒に満足感が伝わった。三分間の自



己PRを聞きいった後、巢鴨地藏参拝、土産のお茶袋を懐にあなたためて次回はいつかなあ?と祝う会はお開きとなった。  
 (幹事 小川力洋、山本越子)  
 追伸。こんな会合を企画しました折には同窓会本部から会旗の貸し出しとともに、報告文、写真添付の提出により通信印刷費の助成金が受けられますので幹事様はご留意下さる様申し添えさせていただきます。

日時 平成二十九年  
 十月二十一日(土)  
 場所 新宿三井ビルディング  
 五十四F 三井クラブ  
 出席 五十二名(同期生三四六名中) 現在六十五〜六十六歳?  
 二年ぶりの同期会です。恩師の江川先生、米谷先生も出席され大盛況の楽しい集いでした。入学から五十年半世紀が過ぎても皆さん、高校生のように元気に楽しく、思い出話で大いに盛り上がりました。次回は二〇一九年開催予定です。是非ともご出席ください。



(幹事一同)



昭和四十五年卒  
 (二十二期) 同期会



二次会



江川先生



江川・米谷先生と



参加者一同

昭和五十九年卒同窓会  
 【秋晴れの平成二十九年  
 十月八日初開催】  
 昭和五十九年卒 千田(樋口) 二仁江  
 体育の野村健一先生のご退職を機に初担任でお世話になった一年二組が声を掛けようと思いつきました。私事ですが、高校を卒業してからこのやよい会で学年幹事と役員を務めさせていただき、その役を離れて二十年になります。実はそれと同時に、小学校のクラス会や学年会を開催していました。



校歌を歌う





一人で四十人程の会を始めた時から、幹事の大変さを実感していたので、小学校からの友人に「高校もやって！」と言われても断り続けていました。

それでも、冒頭のきっかけがあり、年賀状だけのお付き合いになっていた信頼できる友人に声をかけてみました。返事は翌年の年賀状で来ました。「やろう」と。この代表幹事を引き受けてくれた、同じノムさんクラスの伊藤究くんは、打ち合わせと称した飲み会（あれ？飲み会と称した打ち合わせだ

ったかな？）を沢山開き、いろいろな意見を聞き、幹事仲間を増やし、連絡できる同窓生を広げていきました。会場選びから通信関係、当日の細やかな準備や配慮、後日の会計や名簿の整理等、彼のおかげで大きなトラブルもなく、大勢の人たちからの感謝の声を聞くことが出来ました。恩師の皆様への連絡は、野村先生が引き受けてくださいました。先生方の繋がりも励みになりました。約一〇〇名の卒業生と六名の恩師が、あつという間の三時間を笑顔で語り合っている姿が今でも目に浮かびます。

カメラマン役の上村誠一くんが、Webアルバムを利用して楽しい時間を思い出させてくれてます。ここにある写真は、美術クラスのメンバーです。書道クラス、音楽クラスも同様に写真撮影をし、帰りまでに配ることが出来ました。会場からの素晴らしい景色を楽しみゆとりは、私にはありませんでしたが、KKRホテル東京のスタッフによる美味しいお料理と細やかな気配りに満足しました。二次会は、新橋にある「ワイン居酒屋ワイのすけ」を貸し切りしました。同窓生の松山晃久くんのお店で、休業日を返上して開店してくれました。五十人以上出席した三次会

のお店も探してくれたおかげで懐かしい友人たちとの語らいの時間は続きました。様々な方々の支えと、出席・欠席に関係なく、幹事への労いの言葉をかけてくれた同窓生たちに感謝申し上げることで、報告とさせていただけます。そして、やよい会！何より膨大な往復葉書を送ることにしたのは、この報告をすることで、補助金を頂けるからでした。ありがとうございました！

代表幹事の伊藤究くんの挨拶に、「この会がゴールではなく、スタートです」という言葉がありました。同窓会直後に、欠席された担任の先生のクラス会が催されました。更にこの原稿が会報に掲載される頃、美術クラスの会を準備しているはず（笑）。同窓生の繋がりが、次の同窓会までに更に広がっていくことを期待しています。今回連絡が取れなかった皆様、こちらに連絡をください。

昭和五十九卒業同窓会連絡先  
tokyu1965@gmail.com



## 同窓会だより

昭和三十六年卒

田中 正明

「明治・大正・昭和」「明治は遠くなりにけり」、と言う言葉が流れた時があった。そうして現今、「大正・昭和・平成……」・昭和が遠くなるうとしている。

その昭和の時代に多くの時間を過ごして来た一人として、一抹の寂しさも覚えてる。子供の頃、路地は大勢の仲間の遊び場だった。石けり・どこゆき・ゴムとび、女の子も男の子も、夢中になって一



緒に遊んだ。電車通り(不忍通り)に出ると、二十系統(須田町〜江戸川橋入後には池袋行きも)・四十系統(神明町〜銀座)・三十七系統(駒込千駄木町〜日比谷三田)の都電や、新橋〜川口を結ぶ国際興業のバスが走っていた。子供の時代を了えた後も、都電は大学への進学、職場への通勤の足として長くお世話になった。時代が進むに連れて、子供たちの様子も、不忍通りの景観も大きく変容した。昭和の時代に繋がる子供の頃の思い出を、一つ綴ってみよう。

NHKラジオで毎日放送されていた、「気象通報」のことである(現在でも午後四時から第二放送で放送されている)。当時は一日に三回放送され、午後四時からの放送を耳にすることが多かった。四時になりました。気象通報の時間です。気象庁予報部発表の今日〇月〇日正午の気象通報です。石垣島では北北東の風、風力は四、天気は曇り、気圧一〇三〇ミリバール、続いて名瀬・鹿児島・福江・厳原・足摺岬・室戸岬・松山・順次北へ向かい相川・仙台・宮古・秋田・函館・浦河・根室・稚内・さらに東アジアを中心とした各地の観測結果、船舶から送られて来た情報、漁業気象などが伝えられ、



最後は「天気図」を書くための情報とのことで、ゆっくりと落ち着いた男性アナウンサーの声で、今でも耳に残っているような気がしている。また観測地点は、国外のハバロフスク・ウラジオストク・木浦・長春・大連・上海・武漢・香港などを合わせた五十箇所を超え、それらの地に思いを巡らせたことも少なくなかった。

長じて、訪れた都市もある。とは言え中でも思いが強かった大東島を訪れる機会はなく過ぎて来た。しかし一昨年の春同島を訪れ、南大東島地方気象台と観測の一端を

目の当たりすることが出来、昭和の子供時代に抱いた想いを果たしたのである。

大東島は沖縄本島の東三六〇kmの太平洋上にあり、北大東島(人口六九二人)・南大東島(人口一四二五人)と、在日米軍射撃場に充てられている沖大東島、他に二つの小島を合わせ「大東諸島」と命名されている。南・北大東島には飛行場があり、那覇空港からプロペラ機が就航している。二島の間は我が国最短の航空路だそう、離陸後水平飛行に移る間もなく所要時間は最短三分。搭乗した時は、離陸から着陸まで十分程を要し、二つの島の全景を具に見ることが出来た。島は屹立し港を持たなかった。このため人や物や船は巨大なクレーンで吊り上げ吊り下ろして来たのだと言う。(平成元年から島を大きく彫り込んで人口の漁港・避難港を造るプロジェクトが進められて竣工)。

待望の気象台は、南大東島の役場近くにあつた。日々の観測は、この地で連綿と続けられて来たこと。説明を聞き歴代の観測機器を実見した後、午前八時半近くにラジオゾンデを放球する場に移動した。高層気象観測用機器を吊り下げたバルーンを、大空に放球

する世界共通の観測方法とのこと、バルーンは観測を続けながら三十km位迄上昇、その後上空で破裂しパラシュートでゆっくり降下。以前は職員の方がバルーンを手に持ち時間が来ると空へと放つていた作業が、GPS機能を備え放球方法も全自動に変わったのだと言う。「気象通報」で耳に馴染んでいた地で想い描いていた瞬間を待たしたが、小雨まじりの曇天で風が強く打ち出されたバルーンは一瞬にして空の彼方に消えてしまった。空を見て、明日の天気を予見することが稀になった。履いている下駄を蹴り上げ、明日の天気を占う遊びも忘れられてしまった、人々の鼓動や社会の実像を薄め、「昭和」は過去の一時代、時代区分として記憶されることになるのであろうか。

定年後の人生を謳歌しています

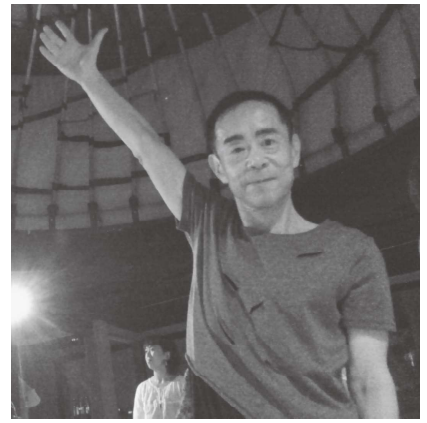
昭和四十五年卒

金坂 吉雅

昭和四十一年(一九六六年)に向丘に入學してから、はや半世紀以上が過ぎてしまいました。当時は、また走っていた都電に、本郷三丁目の停留所から乗り、高校に



近い蓬萊町の停留所で降りて通学してました。



同期会には、卒業十五年後に一度顔を出しただけで、仕事の忙しさにかまけて、その後は同期会のお知らせに返信することもなく、送られてくる同窓会報やよいにも殆ど目を通すことがありませんでした。現在も住んでいる本郷から向丘までは物理的には近くても、心理的な距離は遠い存在でした。七年前に定年を迎え時間が自由に使える様になってからは、二年毎の同期会には必ず出席する様になり、平成二十七年年度の幹事も務めさせて頂きました。定例の同期会以外にも、同期と会食をする機会も多くなり、向丘との心理的距離もやっと近づくことが出来ました。定年後の有り余る時間を持て余すことなく使っています。海外旅行

は、この七年間に中国に十回、ブラジル、イタリアに各一回行きました。上海に四年間駐在していた経験のある中国へは、ネットで飛行機とホテルの予約をしただけで一人で旅に出て、各地を回りこれまでに二十都市以上を訪問しています。

五十歳から始めたヒップホップとジャズダンスは、定年後にはレッスンを週六日通い、還暦を過ぎているにもかかわらず若い人に混じって、川崎クラブチッタやディファ有明のステージなどに出演しました。(写真は、ジャズダンスの発表会にて)

六十五を過ぎてからは、ダンスレッスンは続けていますが、さすが体力的に発表会などの舞台で踊るのがつらくなり、一昨年から友人の主催する劇団句組(わぐみ)の制作担当として、今度は舞台に立つ役者さんの裏方を務めています。劇団句組は、一昨年には女優清川虹子の一生を描いた「虹の刺青」を、昨年は、昔は学生運動の闘士、それが今では平凡な主婦の青春時代の挫折の物語「ミロンガ」を上演しました。

今年十月に中野 MOMO にて、正岡子規の妹、律の生涯を描いた「律女立つ」を上演予定です。詳

細な情報はブログにて告知いたしますので、ご興味のある方は「劇団句組のブログ」で検索してみてください。

### 今年の抱負

昭和四十七年卒

佐々木(遠野) 郁子

昨年末に台湾に出かけた。初めての台湾だったが、食事は何を食べてもおいしく、町はきれいで人々はやさしく、大変気に入ってしまった。

もとは中国の人たちなのに、中国に行った時の印象とはまるで違った。中国では乗り物の中で通路を隔てていてもにぎやかにおしゃべりをする人が多かったが、台湾の人たちは静かに座っている。買物をする時も、中国では列に並んで待つことはなく、割り込みが当たり前に行われていたが、台湾では違った。もっとも中国はとても広い国なので、私が訪ねたいくつかの町が中国を代表しているわけではないだろう。また、台湾に地方に行けばまた違う印象になるのかもしれない。

一週間同じホテルに滞在したので、その町に暮らしている気分にな



ホテルの部屋から見た朝焼けに染まる台北の町

なって、駅前の食堂で朝ごはんを食べてみたり、週末に開かれていたファーマーズマーケットをのぞいたり、夜市に出かけたりした。夜市ではその全ての値段の安さに打ちのめされ、ホテルの食事もつたいたなく感じてしまったりした。同行していた夫の希望で日本統治時代の建造物を訪ね歩き、結果として台湾の歴史を深く知ることになった。台湾が今の繁栄と自由を得るまでには幾多の試練があったことを知り、中国と一つにはなれない理由がよく理解できるようになった。九份へのツアーに参加した時のガイドの言葉が忘れられない。「台湾は地震もあるし、日本で地震があれば津波も来る。台

風も中国もあつて本当に大変だ」と言うのだ。台風と中国が同格なのはともかくとして、たとえ同じ民族とはいえ、長い年月の間に生活習慣も価値観も変わつて、容易には一緒になれないと不安を抱く気持ちはもつともなものがある。

ホテルではベッドサイドのテーブルに仏教の格言が六ヶ国語で書かれた本が置かれていた。なかなか素晴らしい言葉ばかりなので、どこで手に入るかと尋ねたところ持つて行つてよいとのことなので今机の上に置いてある。その中に書かれている一つ、  
Our need are few, our wants many.

今年は本格的に断捨離を考へようと思う。

『向丘高五十五年会』・『弥生クラブB』・『やよい会』の一年

二〇一七年は正に私にとつて、がおか(向丘高)の一年でした。年初めの一月世話人同志で『12/29会』の反省会兼ね新年会からスタートです。

三月十二日に昨年に続き『和光市民マラソン大会』十kmマラソン



を四名で参加しました。当日は真冬並みの陽気でアツプを入念にやり過ぎたか、一番走り頭の戸部君がまさかの八〇〇mでリタイア! その後は楽しい飲み会でした(笑)。翌週十九日には、『弥生クラブB』

籠球部OB会で小川先輩(昭和四十八年卒)、本田先輩(昭和四十九年卒)がお取り計らいいただき現籠球部顧問の有澤先生との交渉の末、現役選手との交流戦を開催していただきました。約三十年振りの母校は近代的な校舎に生まれ変わり圧巻でした。試合は一クオーター三分の特別ルールでしたがそれぞれのOBが思い思いに楽しくプレーをして最高の一日を過ごすことができ感謝に絶えないです。四月二日千葉ニュー会(向丘五十

五年千葉会)に初参加。お花見としての会で桜は一輪も咲いていなかったですがアットホームで心温まる会でした。二十三日『やよい会』総会で五十五年卒四名参加、二部の進行を急遽仰せつかり緊張しました。

五月二十一日『築地&浅草ぶらりツアー』、企画立案当時一月は築地市場最後の年かと思ひ、浅草めぐり(三社祭も)も兼ねてのフリーで散策十五名の参加、夏の陽気で日差しが強く暑かったので最後の銀座で韓国料理店での一杯は格別でした。翌週二十八日、『やよい会全国大会』は地元川越での開催。年明けの会場(お店)情報収集から川越散策ツアーの企画、事前の打合せを経てこの会を執り行うことが出来て大変充実した一日を過ごせました(川越の良さを少しはアピール出来たかなと)九月十日学校訪問(向陵祭見学)

後『やよい会』七十周年記念式典打合せ三名で参加。二十九日七十周年記念式典へ浅野君と出席。東洋大学マラソン監督酒井氏の講演もあり、この盛大な式典に参加でき幸いです(宴の席で籠球部顧問の有澤先生に再会でき嬉しかったです。また交流戦ができたらしいなくとお願いしちやいました

が、い)

十月、『マラソン練習&川越祭り』で終日雨降りだったので中止しましたが沿線中心の五十五年会仲間と千葉ニュー会に対抗して『小江戸会』を発足しました(初回は男四、女二の六名)十一月『小江戸川越マラソン大会』急遽二名不参加、三名でのラン。(やはり最後の約1kmは辛い)

十二月、年の締めくくりは『十二〜二十九向丘五十五年会』です。ボーリングからのスタートで年々増え十名の参加に。ワイワイとても和やかにプレーを楽しめました。メインの会では今年二名の仲間が新たに加わり二十五名参加いただきました。懐かしいいきいき時代の向丘高校時代に還り嬉しいひと時を過ごすことが出来ました。次年度も世話人の有志と共に仲間達へ声を掛け、親睦をより深めて参ります。

終わりに、『弥生クラブ向丘高校バスケットOB会』(弥生クラブB発起人本田雅一先輩)のHPを五十五年同期の池田君が立上げてくれました。この場を借り籠球部OB・OGの皆様へ、是非ご覧いただきたくお願い致します。

『向丘五十五年会』世話人代表  
浦野 良一



## 同窓会総会報告

同窓会は、平成二十九年四月二十三日(日)十二時より、駒込駅近くの和食店で開催されました。

総会は、杉浦副会長の司会で開始し、宮久保会長の挨拶、仙谷幹事長の音頭による、校歌斉唱を経て、議事に入りました。議長は、規約に従い、宮久保会長がつとめ、①報告事項 ア、事業報告(笹山書記)イ、決算・監査報告(尾道会計・三田監事)それぞれ承認されました。引き続き、②審議事項 ア、事業計画(佐々木書記)イ、予算案(尾道会計)ウ、役員選任(宮久保会長)より、提案をしました。それぞれの審議事項についても、満場一致で承認されました。

続いて、懇親会に入り、栗原校長よりご挨拶を受け、小川名誉顧問より、乾杯の発声をもって、和気あいあいの中で進行していきました。来賓として、神能前校長、山下副校長、古仲PTA会長、山口元PTA会長のご臨席を戴きました。

参加された皆さんは、それぞれ旧交を深め、時間を忘れるほど、懇談いたしました。

参加された皆様、有難うございました。今年も友人をお誘い参加されますようお願いいたします。



平成29年4月23日於駒込「源気丸」

## やよい全国大会・川越大会報告

川越大会は、29年5月28日(日)川越市内で開催いたしました。当日は、15名(内川越在住3名)の参加で開催されました。久しぶりで、複数の地元の参加者があり、良かったです。

駅についてから、地元ガイドから川越の案内をされ、何か所かお寺参りをしました。その後、市内の飲食店で、自己紹介及び近況報告を受け、美味しい地酒を飲みながら、懇親を深めました。

今年は、長野県松本市で開催いたしますので、松本市・近隣にお住まいの方及び希望者のご参加をお願いします。



# 体育祭

2017.6.2 (金)

新河岸陸上競技場



3年男子棒倒し



全学年選抜騎馬戦



3年女子 荒川の渡し





# 向陵祭 2017

2017.9.9-10

今年のテーマは「70周年の魔法にかけられて」

## 2-2 Takey Potter ～魔法の焼きそば～



本番まで多くのトラブルが起きました。無事完売して良かったです。

## 茶道部



夏休み前から準備を重ね、一生懸命頑張りました。

## 1-5 マジカル☆フォト



私たちは6つのフォトスポットを作りました。特にステンドグラス作りが大変で完成した時はとても達成感があった良かったです。

## 料理研究部



1週間で6,000枚のクッキーを作りました。おかげさまで完売しました。ありがとうございました。

## ダンス部



思いやりのある後輩たちと団結力のある3年生、総勢75名で心に残るステージを作りあげました！

# 寄付者・会費納入者一覧

平成29年度中に寄附金・年会費をお振込頂いた方々です。(敬称略)  
 尚、3,000円以上の納入は寄付者扱いとして掲載させて頂きました。  
 ご協力誠にありがとうございました。有効に活用させていただきます。  
 尚、記載漏れがありましたらご連絡下さい。(30年1月末日)



### 寄付者名一覧

- ◆旧職員  
木津 淑子(木内)
- 井口 磯夫
- 北村 正生
- 石井 隆夫
- 池永 武昭
- 北村 透
- 新城 昇
- 前園 実
- 関根 茂
- 戸谷 賢司
- ◆現職員  
来原 爾
- 山下 一郎
- ◆昭21年卒  
杉本 カツ(杉本)
- 井瀧千恵子(折原)
- 呉羽 達子(吉原)
- ◆昭25年卒  
増田ヨシイ(小林)
- ◆昭26年卒  
新海 節子(武藤)
- ◆昭27年卒  
坂本 眞
- 木村 弘子(川島)
- ◆昭28年卒  
原 温代(不破)
- 秋山 知也
- 霜田 恒彰
- 早船セツ子
- 富樫三重子(牧野)
- ◆昭29年卒  
関 紀子(入江)
- 橋田美智子(山口)
- ◆昭30年卒  
浅倉 京子(佐藤)
- 大島美智子(裕)
- 荒井喜美子
- ◆昭31年卒  
小川 力洋
- 川端 春生(三橋)
- 田中 澄子(小粥)
- 高尾 和子(杉本)
- 増子 明美(若生)
- 木村 隆
- 三田 昌男
- 西岡 照男

- ◆昭32年卒  
金沢 敬夫(石神)
- 津坂 敬子
- 櫻井 弘清
- 佐藤 元是
- ◆昭34年卒  
根岸 宏和
- 村木 豊彦
- 脇田 知子(村山)
- 永田 正博
- ◆昭35年卒  
五十嵐光俊
- 久保 雄南
- 能州 良彦
- 森 正樹
- 友部 佳子(立川)
- ◆昭36年卒  
田中 正明
- 松垣 宏道
- 岩井 和子(大野)
- 安村 章
- 浜口 宗武
- ◆昭37年卒  
大出 洋子
- 茂木 昭雄
- 山崎 政利
- 宮下紀恵子
- 勝部 邦彦
- 倉野まき子(森田)
- 宮下 玲子(中林)
- ◆昭38年卒  
飯山千枝子(萩原)
- 井上智恵子(浜野)
- 吉田 法子(斎藤)
- ◆昭39年卒  
湯浅美保子(奈良)
- 荒川 正
- ◆昭40年卒  
高橋 重雄
- 鳥飼 重和
- 秋山 浩一
- 杉浦 重治
- 内田 淳子(青木)
- 小山由記子(吉田)
- ◆昭41年卒  
吉田 恵子
- 原 淑子(近藤)
- 青木 恒雄
- 溝口 進一
- 尾道 郁代(大橋)

- ◆昭42年卒  
米谷 省吾
- 皆川 和美
- 唐木 千曉
- 田所 徳文(浜田)
- 菊池 武博
- 岩崎 芳秋
- ◆昭43年卒  
鈴木 幹夫
- 榎本 裕子(高橋)
- 湖山 均
- 石川 明枝(石川)
- ◆昭45年卒  
久保 雄南
- 宮久保 渡
- 仙谷 剛
- 山口 義朗
- ◆昭46年卒  
恩村 一郎
- 笹山 幸子
- ◆昭47年卒  
佐川 海道
- 佐々木 郁子(遠野)
- ◆昭48年卒  
本多 和子(国分)
- 藤原 節子(酒井)
- 遠藤 清孝
- 柏 英明
- ◆昭51年卒  
萩谷 忠
- 渡辺 陵子(木村)
- ◆昭55年卒  
森田 稔
- 新井 清一
- ◆昭56年卒  
恩田 益夫
- 武智 弘英
- ◆昭58年卒  
旗野 敏弘
- ◆昭59年卒  
千田二仁江(樋口)
- ◆昭61年卒  
今井美代子(清水)
- ◆昭63年卒  
目黒 利枝(菊池)
- ◆平元年卒  
横山 信夫
- ◆平5年卒  
高橋 康隆
- ◆平14年卒  
吉野 絵里

### 会費納入者名一覧

- ◆平16年卒  
糸岡紗央里(三橋)
- 糸岡 達也
- ◆平22年卒  
高崎さつき
- ◆平27年卒  
伊藤 瑞生
- ◆昭24年卒  
高木 芳江(高木)
- 水上 實(水上)
- 堀田 恵津(山田)
- 井上 早苗(阿部)
- ◆昭25年卒  
花沢富美子(菅野)
- ◆昭26年卒  
村井 百子(山内)
- ◆昭27年卒  
太田 きよ(太田)
- 瀬戸口弘子(馬場)
- 高橋 清子
- 古山 愛子(西方)
- 児玉 恵子(児玉)
- 酒井美代子(松田)
- 津雲 貞子(松田)
- ◆昭28年卒  
小林 洋子(庄司)
- 岩松 英子(塚田)
- 中村 弥生
- 鈴木 梅代(山本)
- 谷戸 洋子(鰐淵)
- 内山 由子(豊田)
- 小林 恰子(足立)
- 竹内佐代子
- ◆昭29年卒  
高野 芳子(金安)
- 北岡千枝子(松田)
- 大西 弘明
- 瀬沼 勝
- ◆昭30年卒  
曾根 尚郎
- 山田 順一
- 城戸 良江(小林)
- 中川 貴子(山崎)
- 長縄 信孝
- 上田 明
- 岡崎 紀幸
- 若木 康孝

- 中村 素子(河野)
- ◆昭31年卒  
松居 晃
- 柏 やよい(保田)
- 山田 和子(釘宮)
- 塚本トメ子(佐藤)
- 佐藤佐江子(森)
- 鈴木やす代(渥美)
- 小川 啓子(小川)
- 二瓶恵美子(佐枝)
- ◆昭32年卒  
吉川八重子(篠崎)
- 春川 園子(勢)
- 藤沢寿美子(竹内)
- 小西 圭子(城)
- ◆昭33年卒  
筒井喜巳子(荻田)
- 小林 清明
- 中河 健男
- ◆昭34年卒  
植山榮次郎
- 乙部たみ子(新名)
- 本多 重行
- 森島 紘子(太田)
- 鹿島 節子(畠田)
- 車田 壹子(日野)
- 浅利 拓哉
- 藤田 皓一
- 渡部 葉子(泉)
- 金子 泰代(野中)
- 折本 輝子(増田)
- 山北 宣久
- 三木 桃子(竹谷)
- 古林 徹
- 菅口 雅子(古川)
- 立花 玲子(古川)
- ◆昭35年卒  
大久保圭子大久保
- 三浦みさ子(江島)
- 永沢 治子(山本)
- 糸井 敏子(清水)
- 大高 勝子(関)
- 難波田久子(土井)
- 池辺 弥生(星野)
- 清水 幸明
- 山本一智(高橋)
- ◆昭36年卒  
村上 光由
- 寺尾ヒロミ

- 石黒 寿子(八木)
- 倉持 俊義
- ◆昭37年卒  
板谷 勝
- 渡辺 光寛
- 今村 春江(星)
- 南珠山邦子(近藤)
- 南方 洋子(富田)
- 山口 洋子(山野)
- 高橋 悦子(奥山)
- 小黒 由明
- 橋立 昭武
- 阿部多恵子(随原)
- ◆昭38年卒  
小長谷弘子(矢沢)
- 桜井 昭子(筒山)
- 栗原 佳子(丸田)
- 宮澤 博子(興津)
- 太田 和子(豊田)
- 谷口 昭夫
- 森 征文
- 鎌倉 博子(橋場)
- ◆昭39年卒  
北田 照子(大山)
- 藤尾 誠
- 庄司 和美(赤塚)
- 盛岡 治英
- 大橋いつ子(会田)
- 上野美江子(中村)
- 加藤 明子(中村)
- ◆昭40年卒  
篠崎 美幸
- 寺上 洋子(小原)
- 相澤 妙子(戸川)
- 橋 明
- 八葉重正子(組橋)
- 斎藤由紀雄
- 高橋 和子(新川)
- 杉江 勝憲
- 清水 猛
- 相馬久美子(飯田)
- 澤田 孝子(藤村)
- ◆昭41年卒  
渡辺 恵美(高田)
- 川添奈津子
- 杉山 雅之
- 井村 忠
- 横田代志子(三谷)

- 福原喜久枝(新井)
- 三谷アツ子(西)
- ◆昭42年卒  
橋川 道雄
- 増田 恵一
- 関 由紀子(本庄)
- 榎田 照良
- 高野 一義
- 鈴木 裕司
- 植原美千子(川田)
- 大森 久雄
- ◆昭43年卒  
梶野千恵子
- 豊野 英正
- 中川 敏彰
- ◆昭44年卒  
加藤 和子(大久保)
- 高木 康孝
- ◆昭58年卒  
本澤かほる
- 梓澤 秀昭
- ◆昭60年卒  
内田 明美(内田)
- ◆平5年卒  
飯野 正則
- 村上みな子(塚原)
- 加藤 和子(堤)
- ◆昭45年卒  
粕谷 卓志
- 小井 正夫
- ◆昭46年卒  
若山 孝之
- 藤堂 順子
- 小池 二美(飯島)
- 石井 洋子
- 酒井 義夫
- ◆昭47年卒  
柿沼 好明
- 丹下 薫
- 長谷川教子高倉
- 尾崎 富雄
- 武田 正敏
- 秋元 雅則
- ◆昭48年卒  
関口多鶴子
- 久保田郁子(加藤)
- 小高 智子(池田)
- ◆昭49年卒  
川島 清次
- 今出 隆久

### 運営費にご協力をお願い

会活動活性化に向け、ご提案・ご寄付・年会費等のお振込みを、ご協力お願い申し上げます。

- 上野 一成
- 川崎すみ子(白石)
- 石井徳太郎
- 横山久美子
- ◆昭50年卒  
大西 絹子(田口)
- 小西美恵子(島村)
- 梶 友寿
- ◆昭53年卒  
中沢香代子(近間)
- ◆昭54年卒  
堀井 貴司
- ◆昭55年卒  
佐藤 毅
- ◆昭56年卒  
宮原 里美(鍋木)
- ◆昭57年卒  
高木 康孝
- ◆昭58年卒  
本澤かほる
- ◆昭60年卒  
飯野 正則
- ◆平5年卒  
内田 明美(内田)
- ◆平8年卒  
雨宮 直子
- ◆平10年卒  
高橋 美法
- ◆平11年卒  
吉田 宗弘



平成29年度 総会資料  
都立向丘高校同窓会

平成29年4月23日(日)  
於「源気丸」

《報告事項》

- 1 役員会(幹事会)  
H28年4月17日(日)  
会計監査会 7名参加 於 源気丸
- 2 総会/懇親会於 駒込「源気丸」  
H28年4月24日(日) 12:00~12:30  
報告事項・決算、事業計画・予算案、役員案すべて、満場一致承認 50名参加 12:30より懇親会。自己紹介などで多めに盛り上がりました。  
会報27号4項参照
- 3 研究活動(全国大会)  
H28年5月22日(日)  
栃木県宇都宮大会 12:00~ 12名参加  
於 市内レストラン  
会報27号11項参照  
9月10日(土)~11日(日)  
向陵祭に写真作品を出展 於 母校3階会議室  
「田中・小川氏」土曜日にOB・役員参観あり、5名。
- 4 ホームページの充実について  
①実務打合せ(メンバー 宮久保・仙谷・日黒・椎名)3回開催

- 5 会報関係について  
H28年12月18日(日)  
会報企画打合せ会 15名参加 於 源気丸  
H29年1月16日(月)「やよい」編集  
2名参加 於 タカセ  
2月5日(日)「やよい」校正  
2名参加 於 タカセ  
3月10日(金)卒業予行会に配布できるよう母校に搬入した。1200部(在校生750、新入生250、学校等)
- 6 渉外関係  
H28年4月7日(木)入学式に宮久保会長・小川名誉顧問と田中相談役が参列した。  
於 母校体育館  
5月14日(土)PTA主催の教職員  
歓送迎会 宮久保会長、仙谷幹事長参加  
於 香川栄養大学「松柏軒」  
11月26日(土)PTA0B会主催の  
懇親会 宮久保会長・小川名誉顧問・佐々木書記参加 於 香川栄養大学「松柏軒」  
H29年3月14日(火)卒業式準備会に宮久保会長が卒業生に挨拶をした。  
3月15日(水)卒業式に宮久保会長と小川名誉顧問・田中相談役が参列した。  
於 母校体育館  
H29年3月15日(水)PTA主催の卒業式

を祝う会に宮久保会長が参加した。  
於 本郷東大内レストラン  
学校運営協議会に、宮久保会長、田中相談役参加、  
年2回  
7 生徒への応援  
H28年7月19日 学校との共催で、OBによる進路講演会を開催 43年卒 千田正徳氏  
会報27号11項参照  
H28年10月 学校へグランドピアノを贈呈  
会報27号11項参照  
8 卒対関係  
H29年3月10日(金) 第67回卒業生275名(卒業生全員)について、入会記念品としての個人用特注印鑑を予行日に各組担任先生からお渡しを戴いた。

[決算報告] 別紙決算報告のとおり  
  
《審議事項》  
[事業計画] 案  
平成29年度分 (平成29年4月1日  
平成30年3月31日)

- 1 総会・懇親会開催の件  
会報 27号1頁参照①  
H29年4月23日(日)
- 2 全国大会・やよい会 埼玉県川越市大会開催の件  
会報 27号1頁参照②  
H29年5月28日(日)
- 3 ホームページの充実  
ホームページを充実させるため、努力をします。  
①同窓生の同期会・クラス会・クラブOB会など多くの情報を戴き、発信します。  
②既発行分の「やよい」の掲載をします。  
③卒業写真など、掲載していきます。
- 4 向陵祭参加とホームカミング開催の件  
やよい27号1頁参照③  
向陵祭H29年9月9日(土)~10日(日)
- 5 同期会・クラス会等への通信費の助成、各期の住所をお知らせします  
同期会開催へ 2万円を補助。クラス会・クラブOB会にも5千円補助。  
報告文を受け取り次第、代表幹事の指定口座宛お振込致します。 会合の集合写真等を添えて宮久保会長宛速やかにメールもしくは郵送して下さい。
- 6 広報誌の発行と発送 (会員相互の意思の疎通を図るため)  
平成30年3月に「やよい」28号発行の予定(会員・クラス会・同期会等の適切な投稿を歓迎)。原稿締め切りは1月末とする。
- 7 新卒業生の入会者に記念品特注印鑑セットを贈呈する。
- 8 在校生に対する応援事業  
クラブ活動などに助成。学校・PTAと協力し、OBによる在校生への講演会等の開催。
- 9 年会費、寄付金ご協力をお願い  
新卒者の入会金の殆どは会報関係に充当。年会費は1口¥1,000~¥2,000程度運営費としてご協賛をお願い致します。  
年会費込み3000円以上の送金は寄付金扱いと致します。
- 10 70周年準備会  
創立70周年に向け、学校及び在校生に向け、記念になるものを送ります。具体的には、学校及びPTAと相談して進めます。
- 11 70周年記念講演及び祝賀会  
講演 9月29日(金) 午後2時  
文京シビックホール  
祝賀会 9月29日(金) 午後6時  
上野東天紅
- 12 次期定期総会の件  
やよい28号紙上にて発表予定  
[予算] 案 別紙予算案のとおり

平成28年度会計報告及び及び平成29年度予算

都立向丘高等学校同窓会  
平成29年4月23日

| 収入の部         | 28年度決算     |    | 29年度予算     |    |
|--------------|------------|----|------------|----|
|              | 金額         | 金額 | 金額         | 金額 |
| 入会金(◎8,000円) | 2,208,000  |    | 2,200,000  |    |
| 年会費(含寄付金)    | 820,000    |    | 800,000    |    |
| 総会懇親会費       | 104,000    |    | 100,000    |    |
| 全国大会費        | 27,000     |    | 100,000    |    |
| 諸会費収入        | 49,500     |    | 0          |    |
| 雑収入          | 0          |    | 0          |    |
| 前年度繰越金       | 2,817,702  |    | 3,060,380  |    |
| 収入合計         | ¥6,026,202 |    | ¥6,260,380 |    |

| 支出の部    | 金額         |    | 金額         |    |
|---------|------------|----|------------|----|
|         | 金額         | 金額 | 金額         | 金額 |
| 全国大会関係費 | 111,700    |    | 150,000    |    |
| 交通費     | 86,870     |    | 100,000    |    |
| 通信印刷費   | 109,697    |    | 200,000    |    |
| 会議費     | 116,958    |    | 150,000    |    |
| 総会懇親会費  | 151,543    |    | 150,000    |    |
| 催物関係費   | 36,840     |    | 50,000     |    |
| 慶弔費     | 5,480      |    | 100,000    |    |
| 研究活動費   | 111,389    |    | 100,000    |    |
| 振興助成費   | 20,432     |    | 100,000    |    |
| 会報関係費   | 1,710,000  |    | 1,750,000  |    |
| 渉外費     | 49,500     |    | 50,000     |    |
| 開発費     | 106,413    |    | 300,000    |    |
| 生徒激励費   | 0          |    | 100,000    |    |
| 卒対費     | 99,000     |    | 100,000    |    |
| 周年準備費   | 250,000    |    | 250,000    |    |
| 雑費      | 0          |    | 10,000     |    |
| 支出合計    | 2,965,822  |    | 3,660,000  |    |
| 次年度繰越金  | 3,060,380  |    | 2,600,380  |    |
| 総合計     | ¥6,026,202 |    | ¥6,260,380 |    |

70周年グランドピアノ贈呈 ¥1,200,420 (残金 ¥49,500)

ゆうちょ銀行 10170-1750501 口座名 やよい会  
通常貯金残高 ¥1,560,380 定期貯金残高 ¥1,500,000

上記の通り収支報告申し上げます。

平成29年4月23日 同窓会会長 宮久保 渡(印)  
会計 尾道 郁代(印) 笹山 幸子(印)

監査の結果誤りの無いことを認めます。  
平成29年4月16日 監査 三田 昌男(印) 櫻井 弘清(印)

同窓会役員名簿

平成30年(2018)年1月20日現在

|        |            |      |
|--------|------------|------|
| 顧問     | 新城 昇       | 歴代校長 |
| "      | 池永 武昭      | "    |
| "      | 北村 透       | "    |
| "      | 北村 正生      | "    |
| "      | 石井 隆夫      | "    |
| "      | 戸谷 賢司      | "    |
| "      | 前園 実       | "    |
| "      | 関根 茂       | "    |
| "      | 神能 精一      | "    |
| 名誉会長   | 栗原 爾       | 校長   |
| 名誉顧問   | 小川 力洋      | 31年卒 |
| 会長     | 宮久保 渡      | 45年卒 |
| 副会長    | 杉浦 重治      | 40年卒 |
| 副会長兼会計 | 尾道 郁代(大橋)  | 41年卒 |
| 幹事長    | 仙谷 剛       | 45年卒 |
| 書記兼会計  | 笹山 幸子      | 46年卒 |
| 書記     | 佐々木 郁子(遠野) | 47年卒 |
| "      | 今井 美代子(清水) | 61年卒 |
| "      | 目黒 利枝(菊池)  | 63年卒 |
| 会計監事   | 三田 昌男      | 31年卒 |
| "      | 櫻井 弘清      | 32年卒 |
| 西日本地区幹 | 高尾 和子(杉本)  | 31年卒 |
| 新潟地区幹事 | 小山 由記子(吉田) | 40年卒 |
| 仙台地区幹事 | 吉田 恵子(吉田)  | 41年卒 |
| 静岡地区幹事 | 増子 明美(若尾)  | 31年卒 |
| 茨城地区幹事 | 友部 佳子(立川)  | 35年卒 |
| 札幌地区幹事 | 恩村 一朗      | 46年卒 |
| 事務局    | 山下一郎       | 副校長  |
| 相談役    | 川端 春生(三橋)  | 31年卒 |
| "      | 田中正明       | 36年卒 |

各期幹事

星 直正 29年卒  
 居村 正久 31年卒  
 友部 佳子(立川) 35年卒  
 井上 芳子 40年卒  
 坂井 右紀 41年卒  
 谷嶋二三男 41年卒  
 戸部 実 44年卒  
 (minorutoaddress@gmail.com)  
 粕谷 卓志 45年卒  
 中村恵太郎 45年卒  
 大場 孝秋 46年卒  
 (spw99fy9@key.con.ne.jp)  
 佐川 海道 47年卒  
 斉藤 明良 48年卒  
 浦野 良一 55年卒  
 (ru0316@i.softbank.jp)  
 千田二仁江 59年卒  
 (10chidachan-fujie.10@ezweb.ne.jp)  
 浅野 悠樹 61年卒  
 岩田 隆英 H6年卒  
 (iwatasana@gmail.com)  
 横山 李孝 H1年卒  
 (soutakento@gmail.com)

クラブOB会世話人

軟式テニス部 谷嶋二三男(41年卒) f-tanisima@ac.auone\_net.jp  
 テニス部 長谷川広之(51年卒) h09089490725@mopera.net  
 サッカー部 仙石 剛(45年卒) tsuyoshi.senya@gmail.com  
 フォークソング部 関本 知恵(52年卒) s.chie.tukushi@gmail.com

訃 報

心よりご冥福をお祈り申し上げます。  
 ご報告のありました方のみをお知らせしております。

小池 祥次 29年卒 H29年12月  
 中村 弘子 12期卒 H27年3月  
 石川 真弓(井本) S13年2日生まれ H28年11月  
 石川 和子(柴崎) 24年卒 H28年4月  
 国府田 美恵子(島田) 34年卒 H27年4月

